

松原遺跡 第4、5、6次 発掘調査報告書

2 0 2 3 . 3

淡 路 市 教 育 委 員 会



調査地遠景（調査地上空より妙勝寺を望む）

例 言

- 1 本書は、兵庫県淡路市釜口字松原 1191 番地 1 で実施した、松原遺跡第 4、5、6 次の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、宿泊施設建設に伴い淡路市教育委員会が主体となり実施した。なお、現地調査作業は、株式会社文化財サービス（以下、「文化財サービス」）が担った。
- 3 調査期間は令和 4 年 10 月 10 日～10 月 27 日である。
- 4 調査面積は 137.7 m²である。
- 5 本文・図中の方位・座標は世界測地系による。標高は T.P.（東京湾平均海面高度）である。
- 6 土層名および出土遺物の色調は、農林水産省水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』に準じた。
- 7 本書の編集は新田妃三光（淡路市教育委員会）、中西佳奈江（文化財サービス）が行い、執筆は吉崎 伸（文化財サービス）が行った。
- 8 現地での記録写真撮影は吉崎が行い、出土遺物の撮影は写房 楠華堂（内田真紀子氏）に依頼した。
- 9 調査に係る資料は淡路市教育委員会が保管している。
- 10 調査体制は、下記の通りである。

〔発掘調査〕 新田妃三光、伊藤宏幸（以上、淡路市教育委員会）、吉崎 伸、田中慎一、清須慶太、小林一浩、吉岡創平、中 優作（以上、文化財サービス）、作業員（株式会社京カンリ）

〔整理作業〕 望月麻佑、多賀摩耶、吉川絵里、森下直子、中 優作、場勝由紀菜、古谷真由美、野地ますみ、神野いくみ、上野恵己、甲田春奈、下市紗耶香、内牧明彦、溝川珠樹（以上、文化財サービス）
- 11 出土遺物の年代観は、中世土器研究会 『概説 中世の土器・陶磁器』 真陽社 1995 年
中世土器研究会 『新版 概説 中世の土器・陶磁器』 真陽社 2022 年に依った。